

私たちが緩和ケアチームです



● 緩和ケアとは…

終末期を対象にしたものと誤解されがちな緩和ケアという言葉ですが、緩和ケアとは、実はがんという病気に伴う、身体やこころ、生活上のつらさなどといった様々なつらさを和らげるために、がんが診断された時から受ける、患者さんご家族を支えるケアを言います。

● 緩和ケアチームについて

当院では、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、事務職がお互いの役割を尊重しながら、チームワークにより、入院されている患者さんやそのご家族を支えます。

緩和ケアの基本のひとつは、「生活の質」「生命の質」について大切に考える事にあります。患者さんやご家族の抱えるつらさを和らげ、「自分らしい生活」を取り戻して頂き、「自分らしい生き方」を大切にしていける事が、私たちの目指すゴールです。

緩和ケアチームは、患者さんのベッドサイドに直接訪問をし、患者さんやご家族からお話を伺わせて頂いています。その上でケアの方向性を決定し、主治医や担当看護師と連携して苦痛を緩和し、生活を整えるお手伝いをします。ご病気の治療が難しい状態となっても、緩和ケアチームは「できること」について考え、患者さんご家族を支えていきます。

つらい時、緩和ケアチームの支援を受ける事が出来ない

か、是非お近くのスタッフに尋ねてみてください。

● 通院中の患者さんご家族のためのサポートのご案内
下記のようなお悩みに、がんに関する専門的な知識や技能をもつ看護師が相談に応じます。

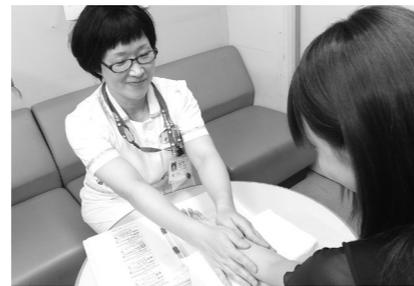
- ・告知を受けて気持ちの整理がつかない、とにかくつらい気持ちを聞いて欲しい。
- ・医師から説明を聞くのが怖い、一緒に話を聞いて欲しい。
- ・がんとどの様に向き合っていけば良いのか…。
- ・今後どのように方針を決めたら良いのか迷っている。
- ・治療の副作用や、がんの症状の為に、自宅での生活に支障が出て困っている…など

*現在は外科に通院中の患者さんご家族を中心にサポートさせて頂いております。

*希望される方はお気軽に「A棟1階総合受付」に声をお掛けください。

(ご相談の状態により、健康保険の適応になる「がん患者指導管理料」が発生する場合があります)

(文：緩和ケア委員会)



眼科検査のこれって何のため??



どうしていつも同じ検査をするの?
(眼圧編)

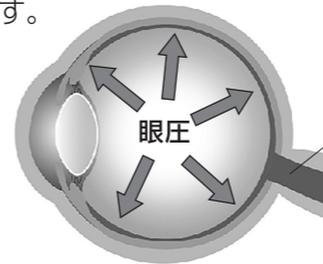
眼圧とは、眼球内圧、つまり目の中の圧力のことです。



【眼圧検査】

目の表面に空気を当てて測定する検査です。
正常範囲：10～21mmHg

上昇すると視神経が圧迫され痛み、緑内障のリスクが高まります。



視神経
目で見た情報を脳に伝える働きをしています。

視神経が圧迫されると、徐々に視野が欠けていきます。一度欠けた視野は元には戻りません。



眼圧は少し高くても自覚症状はありません。視野も、徐々に欠けていくため自覚症状が乏しく、自分で見えにくいと感じたときにはかなり進行しています。

眼圧は日や時間によっても変動します。毎回繰り返し測定することは、普段の眼圧を把握する・治療の効果を確認する・急な変化を見逃さないために必要な検査です。

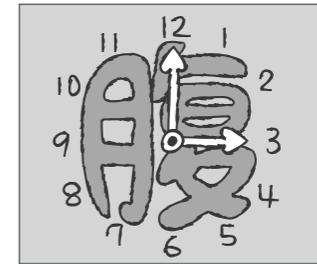
(文：眼科検査室)

気になる

『お腹にまつわる』

頭の体操

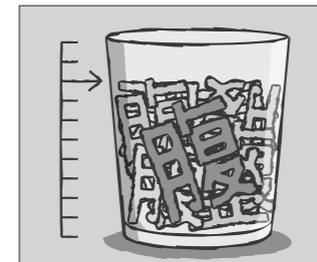
1. 腹〇〇〇



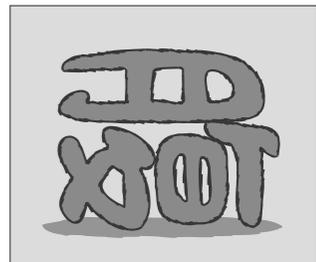
2. 〇〇腹



3. 腹〇〇〇〇〇



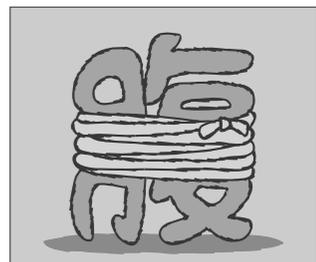
4. 腹を〇〇〇〇



5. 腹を〇〇



6. 腹を〇〇〇



1. 腹を打つ(目) 2. 腹(別冊) 3. 腹(別冊) 4. 腹を打つ(目) 5. 腹を打つ(目) 6. 腹を打つ(目)

【読者】